

第8回 茨城フットケ抄録 (2013.02.21)

●一般演題

『血液透析患者のフットケア 臨床工学技士の立場から』

倉持龍彦 1)・中原毅 1)・関貴弘 1)・上野信一 1)・野原希 2)・若狭信尚 3)

JA 茨城県厚生連 総合病院 土浦協同病院 臨床工学部 1)・リハビリテーション部 2)・
臨床検査部 3)

【要旨】

高効率血液透析器（ハイパフォーマンスメンブレン）普及によって、低分子タンパク領域の除去が可能になり、体内にタンパクと結合し蓄積する有害物質の除去が可能になりつつある。しかし MIA 症候群にある血液透析患者の低栄養や易感染性が改善できているわけではなく、創傷治癒や運動療法による側副血行路の発達に負の影響を与えている。

「血液透析患者のフットケアがなぜ難渋するのか」を臨床工学技士の視点から、昨今の学会での報告や当院で経験した症例を含め、血液透析患者のフットケアを考察する。

●特別講演

『糖尿病性潰瘍の病態と治療 - 「神戸分類」 - 』

神戸大学大学院医学研究科 形成外科学 教授 寺師 浩人先生

【要旨】

本邦では現在 16 万人以上の糖尿病性足潰瘍患者がおり、早期発見と適切な治療戦略が大切断回避のために重要である。演者はその病因である、①. 神経障害 ②. 血管障害 ③. 感染症から、創傷に陥った病態を 4 つに分類し治療方針を立てている。

【病態分類（神戸分類）】

Type I : ①主体、Type II : ②主体、Type III : ③主体、Type IV : ①+②+③

【Type 別治療方針】

Type I : 足の形態や歩行癖に合わせたフットウェア

Type II : SPP（皮膚灌流圧）と angiosome に基づいた末梢血行再建術と局所手術

Type III : 積極的デブリードマン

Type IV : 末梢血行再建術とデブリードマンを施行するがその時期設定が重要